学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
	ーター/First Quarter		
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202305810030C6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高谷 智裕/Takatani Tomohiro		
授業担当教員名(科目責任者)	高谷 智裕/Takatani Tomohiro		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高谷 智裕/Takatani Tomohiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目,教養ゼミナ	ール科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taka nagasaki-u.ac.jp(を@	 に変更)	
担当教員研究室/Office	水産食品衛生学研究室(水産学部		
	2846	,	
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	羽田的能力 / Generic Competence 倫理知 / Ethics 名様性の理解 / Indepetending		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 continties to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 continties that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 continties that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 continties that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 continties that comprehensively utilize that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ	 ばその都度指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		
		819-2948	

備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。最初の授業で授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」
字主へのグラピーク/Message Tor Students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	l _v
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	<u>'</u>
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5	
ーター/First Quarter	EL IXIII Day For Fou	7,7 mon 0, 50,7 rue 0	
2023/04/01 ~ 2023/06/11			
必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
202305810030C7	科目番号 / Course code	05810030	
GEFY 15021_001			
初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar		
王 曜/Wang Yao			
工 曜/Wang Yao			
王 曜/Wang Yao			
教養ゼミナール科目、教養ゼミナ		選択科目 / Elective Courses	
	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
		•	
水産学1年生			
	のに変更)		
	un o re)		
プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。			
局校までの教師主導型子省から、大学における自主的字省へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)			
汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate 			
授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方(15%)やディスカッションへの積極的参加(15%)、プレゼンテーション(40%)、レポート(30%)により総合評価する。			
, 詳細は授業計画詳細を参照			
事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)			
プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集			
,			
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948			
	2023/04/01~2023/06/11 必修、選択、自由 / required, elective, optional 202305810030C7 GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産) / Firs 王 曜 / Wang Yao 王 曜 / Wang Yao 王 曜 / Wang Yao	2023/04/01 ~ 2023/06/11 2023/04/01 ~ 2023/06/11 2023/04/01 ~ 2023/06/11 2023/05810030C7	

	Lamone	
備考/Remarks	授業は対面で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあり	
	ます。その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」	
<u> </u>	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	図書館を利用したアクティブラーニング	
第7回	2班:図書館資料収集ガイダンス	
第8回	図書館を利用したアクティブラーニング	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
3300	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第10回	図書館を利用したアクティブラーニング	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
**************************************	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
77.4.F.D	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)	

2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
	·	
	W D W . To the N CT W	1
必修,選択,目田/required, elective, optional	甲位数(一般/編入/留字)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
202305810030C8	科目番号 / Course code	05810030
GEFY 15021_001		
初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
石橋 郁人/Ishibashi Fumito	石橋 郁人/Ishibashi Fumito	
石橋 郁人/Ishibashi Fumito		
	講義形態/Course style	演習/Seminar
水産学1年生		
fumito nagasaki-u.ac.jp		
生理活性物質化学研究室(水産学	部新々館1階)	
2833		
講義後		
知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
河田的能力/Generic Competence 倫理知/Ethics 名様性の理解/Understanding		
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives 		
授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
┃ ┃詳細は授業計画詳細を参照		
事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備		
・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、 図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
プレゼンテーション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料収集		
授業の進行に合わせ、必要があれ	 ばその都度指示する。	
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
	- ター / First Quarter 2023/04/01~2023/06/11 必修,選択,自由 / required,elective,optional 202305810030C8 GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産) / Firs 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito カ橋 郁人 / Ishibashi Fumito 大きまたール科目,教養ゼミナール科目,教養ゼミナール科目・教養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マター/First Quarter 2023/04/01 - 2023/08/11 必修、選択、自由 / required、elective、optional 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas) 202305810030028 科目番号 / Course code 3

備考/Remarks	対面方式が基本だが,新型コロナウイルス感染拡大状況によってはオンラインで実施することもある。
***************************************	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備
第8回	7 ~ 1 2 班図書館資料収集ガイダンス(1 ~ 6 班は第7回目に実施する)1 ~ 6 班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5	
開講期間 / Course duration	ーター / First Quarter 2023/04/01~2023/06/11	·		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202305810030C9	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菅 向志郎/Koushirou Suga			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	菅 向志郎/Koushirou Suga			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	菅 向志郎/Koushirou Suga			
科目分類 / Course Category	 教養ゼミナール科目,教養ゼミナ		選択科目 / Elective Courses	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sugakosi nagasaki-u.ac.jp(を@に変更)		
担当教員研究室/Office	魚病学研究室(水産学部本館2階			
担当教員TEL/Tel	2827			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後			
授業の概要及び位置づけ/Course overview		的な思考方法と学習・実験のデザイ ションを通じて適切な自己表現能力		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照 			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)			
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集			
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ			
受講要件(履修条件)/Prerequisites				
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	的障壁の除去及び合理的配慮の提		る合理的配慮等のサポートに	
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-			

備考/Remarks	授業は対面で実施
**	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	v
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	T
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1 ~ 6 班図書館資料収集ガイダンス(7 ~ 1 2 班は第8回目に実施する)7 ~ 1 2 班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

ーター/First Quarter 2023/04/01~2023/06/11 必修、選択、自由/required、elective、optional 202305810030D1 GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First 竹内 清治/Takeuchi Seiji 竹内 清治/Takeuchi Seiji	曜日・校時 / Day・Period 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code -Year Seminar	月/Mon 5, 火/Tue 5 s 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 05810030
必修,選択,自由/required, elective,optional 202305810030D1 GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First 竹内 清治/Takeuchi Seiji	(General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
elective, optional 202305810030D1 GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First 竹内 清治/Takeuchi Seiji 竹内 清治/Takeuchi Seiji	(General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
GEFY 15021_001 初年次セミナー(水産) / First 竹内 清治 / Takeuchi Seiji 竹内 清治 / Takeuchi Seiji		05810030
初年次セミナー(水産) / First 竹内 清治 / Takeuchi Seiji 竹内 清治 / Takeuchi Seiji	t-Year Seminar	
竹内 清治 / Takeuchi Seiji 竹内 清治 / Takeuchi Seiji	t-Year Seminar	
竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
竹内 清治/Takeuchi Seiji		
竹内 清治/Takeuchi Seiji		
教養ゼミナール科目,教養ゼミナ・	-ル科目,大学院科目[構造],自由	選択科目/Elective Courses
1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
学部問い合わせのこと		
水産学1年生		
stakeuchi nagasaki-u.ac.jp(を@に変更)	
海洋ベントス生態学研究室(水産5	学部本館2階)	
2856		
知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 definition of the comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers		
授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		
	教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、教養・世界を選り、大学では、全別ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	内内 清治 / Takeuchi Seiji 教養ゼミナール科目、教養ゼミナール科目、大学院科目[構造]、自由 1, 2, 3, 4 講義形態 / Course style 学部問い合わせのこと 水産学1年生 Stakeuchi nagasaki-u.ac.jp(を@に変更) 毎洋ペントス生態学研究室(水産学部本館2階) 28266 講義後 即的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイブレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリコとし、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互の効果も期待する。(目標A,F,G,I,J) 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性のDiversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 表 10 exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in inte A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 も の exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in inte B. 多角的に考えために他者と関わる活動

備考/Remarks	授業は、対面で実施
***************************************	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	AI
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1 ~ 6 班図書館資料収集ガイダンス(7 ~ 1 2 班は第8回目に実施する)7 ~ 1 2 班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
	ーター/First Quarter		
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030D2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 明徳 / Akinori YAMADA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 明徳/Akinori YAMADA		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 明徳/Akinori YAMADA		
/ Instructor(s)			
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayamada nagasaki-u.ac.jp(ঠ	E@に変更)	
担当教員研究室/Office	微生物・遺伝子解析研究室(水産	学部本館1階)	
担当教員TEL/Tel	2847		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	河田的能力/Generic Competence 倫理組/Ethics 多様性の理解/Understanding		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 cbr>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dbr>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、 図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ	 ばその都度指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		
• •	さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 819-2948	かり字生文援至)にご相

備考/Remarks	授業は対面で行います。
W.I	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	AI.
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

- ダー / First Quarter 023/04/01~2023/06/11 必修,選択,自由 / required, lective,optional 02305810030D3 EFY 15021_001 初年次セミナー(水産) / First	曜日・校時 / Day・Period 単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code Year Seminar	月/Mon 5, 火/Tue 5 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 05810030	
が修,選択,自由/required, lective,optional 02305810030D3 EFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First \木 光晴/Yagi Mitsuharu	(General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
lective, optional 02305810030D3 EFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First \木 光晴/Yagi Mitsuharu	(General /Transfer/Overseas) 科目番号 / Course code	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
EFY 15021_001 初年次セミナー(水産)/First \木 光晴/Yagi Mitsuharu		05810030	
初年次セミナー(水産)/First \木 光晴/Yagi Mitsuharu	-Year Seminar		
、木 光晴/Yagi Mitsuharu	-Year Seminar		
、木 光晴/Yagi Mitsuharu			
	八木 光晴/Yagi Mitsuharu		
\ → \ \/\rightar \/\rightar \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\			
\木 光晴/Yagi Mitsuharu			
		選択科目/Elective Courses	
, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
学部問い合わせのこと			
 K産学1年生			
	 @に変更)		
2809			
講義後			
知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での			
高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)			
汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society			
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dbr>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。			
詳細は授業計画詳細を参照			
	♪次州四年ナケい 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	ルプロピンニーン・〜 準件	
事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)			
プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集			
	<u>- · · · ·</u>		
長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948			
K a K 8	産学1年生 gi-m nagasaki-u.ac.jp(を何度 i-m nagasaki-u.ac.jp(i-m n	産学1年生 gi-m nagasaki-u.ac.jp(を@に変更) 産・海事研究室(水産学部本館3階) 09 義後 的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエ、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互効果も期待する。(目標A,F,G,I,J) 汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性のversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in intern A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 をrectory を存在して、学生と教育のではいる。 有限のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然のでは、自然の学生の思考の活動、なけっ/Activities invorious perspectives に、技能修得のために実践する活動 に大き能修得のために実践する活動 をいっ/Activities invorious perspectives に、技能修得のために実践する活動 に大き能修得のために実践する活動 をいっ/Activities invorious perspectives に、技能修得のために知識を総合的に活用する活動 に対しています。ないでは、自然の学生の思考の活性化を促す授業手法 をによいが自然のみで構成される をいっ/Teaching には他はいまりのでは、かけが自然の表でが、がは、ないでは、はいがよりには、おいでは、おいでは、おいでは、おいでは、おいでは、おいでは、おいでは、おいで	

備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。ただし、状況によっては変更する場合もあります。その場合は、 LACSで連絡します。
学生なのメッキー Si Managara for atudanta	「長大生のためのラーニングティップス」
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか	Υ
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
	八木 光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎
· · ·	知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule	
授業計画評価/Course Schedure	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)
第6回	クラス別課題学習
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を
第7日	設定し、調べ及び発表準備
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設 定し、調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン
#•CI	テーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン
	テーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)
	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン
第12回	フラスがは選手目(真体収集及び調査、中間光視、追加調査、調査を纏めるための検討、プレビン テーションの方法についての検討、発表の準備)
77.40	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン
第13回 ————————————————————————————————————	テーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン
第14 四	テーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)

せのこと saki -u.ac. jp (を で	ール科目, 大学院科 講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	留学) / Credits r/Overseas) code 目[構造], 自由语 style	月/Mon 5, 火/Tue 5 1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0 05810030 選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar	
自由 / required, tional D4 O1 ナー(水産) / First e-Jin KIM e-Jin KIM ル科目, 教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(をの完室(水産学部本館) 機付けを高め、科学的ション、ディスカッ	(General /Transfel 科目番号 / Course of t-Year Seminar	r/Overseas) code 目[構造],自由追 style	05810030 選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar	
tional D4 O1 ナー(水産) / First e-Jin KIM e-Jin KIM wh和目, 教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(をの 究室(水産学部本館) 機付けを高め、科学に ション、ディスカッ	(General /Transfel 科目番号 / Course of t-Year Seminar	r/Overseas) code 目[構造],自由追 style	05810030 選択科目 / Elective Courses 演習 / Seminar	
01 ナー(水産) / First e-Jin KIM e-Jin KIM e-Jin KIM tのこと saki-u.ac.jp(をの完室(水産学部本館 機付けを高め、科学的ション、ディスカッ	t-Year Seminar ール科目,大学院科 講義形態/Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	目[構造],自由過 style	選択科目/Elective Courses 演習/Seminar	
ナー(水産) / First e-Jin KIM e-Jin KIM e-Jin KIM ル科目, 教養ゼミナ・ せのこと saki-u.ac.jp(を 究室(水産学部本館 機付けを高め、科学に ション、ディスカッ	ール科目, 大学院科 講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	style	演習 / Seminar	
e-Jin KIM e-Jin KIM e-Jin KIM to Jin KIM ル科目, 教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(をの 究室(水産学部本館) 機付けを高め、科学の ション、ディスカッ	ール科目, 大学院科 講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	style	演習 / Seminar	
e-Jin KIM e-Jin KIM ル科目,教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(をの 究室(水産学部本館) 機付けを高め、科学の ション、ディスカッ	講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	style	演習 / Seminar	
e-Jin KIM ル科目,教養ゼミナ・ せのこと saki-u.ac.jp(をの 究室(水産学部本館) 機付けを高め、科学の ション、ディスカッ	講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	style	演習 / Seminar	
ル科目,教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(を 究室(水産学部本館 機付けを高め、科学6 ション、ディスカッ	講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	style	演習 / Seminar	
ル科目,教養ゼミナー せのこと saki-u.ac.jp(を 究室(水産学部本館 機付けを高め、科学6 ション、ディスカッ	講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	style	演習 / Seminar	
せのこと saki - u . ac . jp (を の を で を で を で を で を で を で を で を で を で	講義形態 / Course s @に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切	style	演習 / Seminar	
saki - u . ac . jp(を の 究室(水産学部本館 機付けを高め、科学の ション、ディスカッ	@に変更) 1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切			
saki - u . ac . jp(を の 究室(水産学部本館 機付けを高め、科学の ション、ディスカッ	1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	・宝輪のデザイン	ᄼᆇᄔᆩᅠᆝᆊᆠᅡᄴᄓᅘᅎᄭ	
究室(水産学部本館 機付けを高め、科学6 ション、ディスカッ	1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	・宝輪のデザイン		
究室(水産学部本館 機付けを高め、科学6 ション、ディスカッ	1階) 的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	・宝駘のデザイ丶	ᄼᆇᄔᆩᅠᆝᅷᅩᅡᄴᄆᅘᅎᄭ	
機付けを高め、科学的 ション、ディスカッ	的な思考方法と学習 ションを通じて適切:	・宝騒のデザイ\		
ション、ディスカッ	ションを通じて適切	・実験のデザイン	/此力 元ポートサロ語での	
ション、ディスカッ	ションを通じて適切	・実験のデザイン	、	
ション、ディスカッ	ションを通じて適切	・宝験のデザイン	火化力 しポートや口頭での	
	大学における自主的	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭での プレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)				
汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society				
A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために対象を使用するに対象を表するに表するとします。 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために対象を表するとします。 doncinument of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるとしまするとしまするとします。 doncinument of the contents to the lesson or to think over Activities to check the lesson or to think over B.多角的に考えるとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとしまするとします				
授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。				
画詳細を参照				
事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、				
業時に配布された資料	図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)			
	J、 コミュニケーシ	ョン、情報・資料	· 注以集	
集方法についての理解	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。			
集方法についての理覧 ション、 自己表現力				
集方法についての理覧 ション、 自己表現力			長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp	
1	vゼンテーション、レ H画詳細を参照 R題学習のための調査 Dこと。(2h) W業時に配布された資 R集方法についての理 -ション、 自己表現力	レゼンテーション、レポート等により評価 計画詳細を参照 限題学習のための調査や資料収集を行い、 うこと。(2h) 受業時に配布された資料等を用いて復習を 収集方法についての理解を深め、主体的な ・ション、 自己表現力、 コミュニケーシ	レゼンテーション、レポート等により評価する。 計画詳細を参照 思題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成が うこと。(2h) 受業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラ 収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを見 ・ション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料 に合わせ、必要があればその都度指示する。	

	授業は基本対面形式で実施します。初回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合も	
備考/Remarks	あります。	
	その場合は、LACSにて連絡します。	
	「長大生のためのラーニングティップス」	
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N.	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	クラス別課題学習	
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を	
2.1	設定し、調べ及び発表準備	
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
3301	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
第13回	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン	
第14回	テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)	

学期/Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
DOM: WORD	ーター / First Quarter		,
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030D5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 健一/Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 健一/Yamaguchi Kenichi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 健一/Yamaguchi Kenichi		
/ Instructor(s)			
科目分類 / Course Category		ール科目,大学院科目[構造],自由	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenichi nagasaki-u.ac.jp(ঠ	E@に変更)	
担当教員研究室/Office	生物環境学研究室(水産学部本館	1階)	
担当教員TEL/Tel	2829		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview		的な思考方法と学習・実験のデザイ ションを通じて適切な自己表現能力	
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、 図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ	 ばその都度指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		
· ·	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		

備考/Remarks	海洋生物物理化学研究室にて対面式の授業を実施する。	
W. I	「長大生のためのラーニングティップス」	
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	クラス別課題学習	
第7回	1 ~ 6 班図書館資料収集ガイダンス(7 ~ 1 2 班は第8回目に実施する)7 ~ 1 2 班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備	
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)	

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
開講期間 / Course duration	ーター / First Quarter 2023/04/01 ~ 2023/06/11	· ·	
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030D6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小山 喬/KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小山 喬/KOYAMA Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小山 喬/KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	 数		選択利日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	m 我/// icourse Style	/英目 / Sellittidi
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	水産子+千土 tkoyama nagasaki-u.ac.jp(を		
担当教員研究室/Office	遺伝育種学研究室(水産学部本館		
担当教員TEL/Tel	退伍育種子研究至(水库子部本語 2 階) 2832		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学	的な思考方法と学習・実験のデザイ ションを通じて適切な自己表現能力	
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加(30%)、プレゼンテーション(30%)、レポート(40%)により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-		

備考/Remarks	授業は全て対面で行う。	
W.I	「長大生のためのラーニングティップス」	
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	AI.	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介 (対面)	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎(対面)	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力(対面)	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	クラス別課題学習(対面)	
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備(対面)	
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)(対面)	

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		1
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030D7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	広瀬 美由紀/Miyuki Hirose		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	広瀬 美由紀/Miyuki Hirose		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	広瀬 美由紀/Miyuki Hirose		
科目分類 / Course Category			選択利日 / Flactive Courses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと	m我/// Course Style	/英目 / Sellittidi
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-hirose nagasaki-u.ac.jp(をのに恋更)	
担当教員研究室/Office	漁業技術研究室(水産学部本館1		
担当教員TEL/Tel	漁業技術研究至(水産子部本間「階) 2817		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学	的な思考方法と学習・実験のデザイ ションを通じて適切な自己表現能力	
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談でいい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948		る合理的配慮等のサポートに
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-		

備考/Remarks	授業は、原則対面で行う。	
当生なのメット こ Managan for atudanta	「長大生のためのラーニングティップス」	
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	v	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	広瀬美由紀 / 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所、西海区水産研究所および韓国全南大学校での実務経験 / 国内外の研究所や大学で行ってきた研究・授業および学会発表の経験を活かし、実験計画の立て方、発表の仕方について指導する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	クラス別課題学習	
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備	
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)	

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 1クォ	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 5, 火/Tue 5
	ーター / First Quarter	TELL IXEN POLICE	7,7 mon 0, 7,7 nd0 0
開講期間/Course duration	2023/04/01 ~ 2023/06/11		I
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202305810030D8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(水産) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平坂 勝也/Hirasaka Katsuya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平坂 勝也/Hirasaka Katsuya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平坂 勝也/Hirasaka Katsuya		
A目分類 / Course Category		11科目 土类胶料目[排洗] 白木	2思也到日 / Flootive Courses
対象年次 / Intended year	教養セミノール科目,教養セミノ 1,2,3,4	ール科目,大学院科目[構造],自由 講義形態 / Course style	選択科目 / ETECTIVE Courses 演習 / Seminar
教室 / Class room		調義形態 / Course Style	供自 / Sellitial
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	学部問い合わせのこと 水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	水産子「牛主 hirasaka nagasaki-u.ac.jp (たのに亦再)	
担当教員研究室/Office	食品栄養学研究室(水産学部新館		
担当教員TEL/Tel	2839	4 PA)	
担当教員オフィスアワー/Office hours			
担当教員オフィステラー/OTTICE Hours	11777777	 的な思考方法と学習・実験のデザイ	ン能力 レポートや口頭での
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーション、ディスカッ	ションを通じて適切な自己表現能力	を育てる。
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	┃ 汎用的能力/Generic Competen	ce 倫理観/Ethics 多様性の	理解 / Understanding
しい力 (1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy		えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	域社会への関心/Interest in inter	national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極 的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、 自己表現力、 コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれ		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		る合理的配慮等のサポートに
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095- (E-MAIL) support@ml.nagasaki-		

備考/Remarks	授業は対面で行います。	
W.I	「長大生のためのラーニングティップス」	
学生へのメッセージ/Message for students	https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか	AI.	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ガイダンス:モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介	
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎	
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力	
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)	
第5回	情報リテラシー:情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)	
第6回	クラス別課題学習	
第7回	1~6班図書館資料収集ガイダンス(7~12班は第8回目に実施する)7~12班は各自課題を 設定し、調べ及び発表準備	
第8回	7~12班図書館資料収集ガイダンス(1~6班は第7回目に実施する)1~6班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備	
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼン テーションの方法についての検討、発表の準備)	
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)	